



新町自主防災ニュース

(1～4丁目)

2024年1月15日発行 050号

「新町自主防災会」編集

*防災ニュースは新町の自治会加入の
全世帯に配布しています

夜間に地震が発生
周囲が暗いため、より慎重な行動を！

地震発生直後の注意点

- ①揺れが収まるまで動かない
・就寝時は布団から飛び出ない、布団の中で待つ
- ②照明を確保して周囲の状況を確認する
・その場で、寝床から声を出す、笛を吹くなどして家族の安全を確認
- ③靴・靴下を履いて安全に動けるようにする
- ④いつでも外に出られる格好・準備をする
・防災ずきんやヘルメットなどで頭を保護

避難する時の注意点

- ・夜間は視界が悪いため、急がないでゆっくりと動く
- ・保温対策用に温かい衣類や毛布などを用意する
- ・電気のブレーカーを落とす
- ・ラジオやスマホ等で正確な情報を入手する

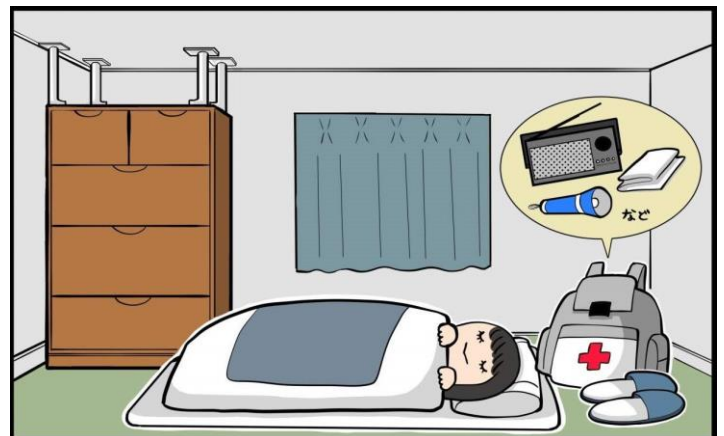
日頃の備え

- ・寝室には倒れる恐れのある大きな家具は置かないか、突っ張り棒などで固定する
- ・寝室の窓にはガラス飛散防止フィルムなどを貼っておく
- ・枕元には運動靴かスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオかスマホ、笛、ヘルメットなどを置いておく
- ・避難する時に最低限必要な飲料水、食料…などを用意しておく

<就寝時の注意点>

頭の上にもものが落ちてこない所に寝る

割れたガラス片などがないか注意



枕元にはスリッパ、懐中電灯、携帯ラジオなどを置き、避難できるように準備

夜間に地震が発生した時の行動を想像して、
自宅の安全性を再点検しよう！

義理の妹が阪神・淡路大震災の被災者ですが、ライフラインの中でも水の寸断が最も大変だったと聞いています。
今回は我が家の水道、ガス、電気の防災対策についてご紹介します。

1、水の備蓄

風呂の水は落とさずに貯めてあります。その他、水7 1リットルを常時備蓄しています。



生活用水60ℓ

飲料水11ℓ
(2人用)

2、ガスコンロ/ボンベの保管

食器棚には2台のガスコンロ、4本のガスボンベを保管しています。



※インスタント、レトルト食品も水とガスを確保できれば保存食になります。

3、太陽光発電/蓄電池の設置

太陽光で発電した電気を蓄電池に蓄え、停電になった時は蓄えた電気を使います。



※先回町内で起きた停電時も自動的に蓄電池の電気に切り替わり、効果も確認できました。
初期費用はかかりますが、環境にも優しいのでお勧めです。